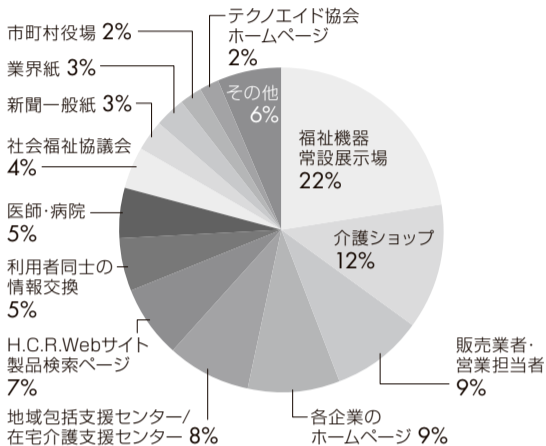


## H.C.R. 2018 福祉機器利用者アンケート 回答の概要

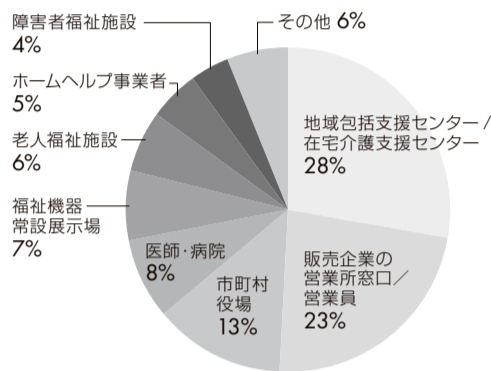
### 1 福祉機器情報の入手方法 (※複数回答可)

福祉機器情報の入手方法は、「福祉機器常設展示場」が22%と最も多く、次いで「介護ショップ」が12%、さらに「販売業者・営業担当者」と「各企業のホームページ」が9%と並び、「地域包括支援センター/在宅介護支援センター」が8%という結果になりました。これらは、機器を実際に見て、聞いて、触れて、相談して「確かめられることや、インターネット上で気になる製品同士の比較ができるなどの特徴があり、福祉機器情報を求めるうえで欠かせない点であると推測されます。



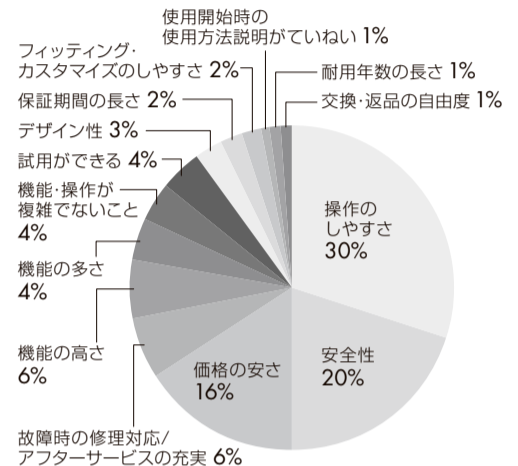
### 2 購入/レンタル時の相談窓口 (※複数回答可)

福祉機器の購入/レンタル時の相談窓口として、例年同様に「地域包括支援センター/在宅介護支援センター」が28%と最も多い結果となりました。これは、福祉・介護の専門職が必置されていることや、主に中学校区域という身近な圏域内に設置されていることなどから、福祉機器利用者それぞれの状況にあわせた適切な相談に対応できることが背景にあると考えられます。次いで「販売企業の営業所窓口/営業員」が23%であり、その他も例年並みの割合になりました。



### 3 福祉機器の利用にあたって望まれること (※3つまで選択可)

福祉機器の利用にあたって望まれることとして、昨年に続き「操作のしやすさ」が30%と最も多く、誰でも簡単に操作できる機器の開発が求められているものと考えられます。次いで、「安全性」を求める声が多くあがりました。昨年2番目であった「価格の安さ」を上回った形です。最先端の技術を活用し、利便性を追求する機器の開発が注目されている分、同時に安全面にも十分に保障する視点も欠かせないという意識の表れと考えられます。



### 4 福祉機器の開発や利用についての意見・要望 (フリーアンサー)

例年、福祉機器の試用やメンテナンス、安全性、費用負担の軽減などへの対応を求める声が多く寄せられる中、今回は特に、福祉機器利用者をはじめ、家族や施設関係者などからも、それぞれの方々がもつニーズを反映させた機器の開発・利用を期待する意見が多くありました。本会ではいただいた意見や要望を集約し、次の5項目に分類しました。

#### ■福祉機器の開発に期待する視点

- ① 今までの機器は、実際の福祉・介護現場で必要としている機器とかけ離れていることがあったので、これまで以上に現場の声をくみ上げた機器の開発に力を入れてほしいです。
- ② 福祉機器利用者のニーズがきちんと反映されるために、利用状況のモニタリングの機会を増やした開発の視点が重要だと思います。
- ③ 福祉機器を活用した職員と、福祉機器の活用を受けた利用者の感想や満足度などの差異が少なくなるよう研究と改良を重ねる必要があります。
- ④ 施設内で適切な機器を導入できるよう、あらかじめ開発の段階から入居者数や職員数、施設環境などの違いを想定してほしいです。
- ⑤ 「誰でも簡単に利用できる」という開発の視点は大事ですが、同時に一人ひとりの特性にあったカスタマイズができるなどの視点も大事だと考えます。
- ⑥ 日常生活圏域で機器の試用や似た製品の比較ができる場を増やせると、より身近な意見を収集することができ、良質な機器の開発につながると思います。
- ⑦ 福祉機器の開発を促進するために、補助金を拡大し、中小企業でも製品の研究・開発がしやすくなってほしいと考えます。
- ⑧ 安全性が第一ですが、それだけに特化せず、使いやすさと耐久性の確保、アフターメンテナンスの保障がきちんとされている製品が増えてほしいです。
- ⑨ 豊富なデザインのバリエーションを用意することは必要ですが、それと同時に高齢者や障害者、子どもなど誰もが共通に利用できるデザイン性の高い製品の開発をお願いします。
- ⑩ 2020年のパラリンピックに向け、IoTやICTなどを活用した自立支援型の機器がまちづくりの一環として普及できるよう、例えば自治体と開発業者などとの連携が必要だと思います。
- ⑪ 情報機器・電子機器の複雑な操作が困難な認知障害や発達障害などのある利用者でも、操作しやすいシンプルな作りで改良して普及させてほしいです。
- ⑫ 身近に利用できる日常生活支援用品やコミュニケーション・見守り機器なども介護保険が適用されるべきだと感じます。
- ⑬ 効果的な機能が増える分、誰もが利用しやすいように製品の軽量化を進めてほしいです。
- ⑭ 在宅において家族でも安心して活用しやすく、経済的な負担感の

- ⑮ 少ない製品を期待します。
- ⑯ 障害の状態や病気の变化にも対応できる福祉機器の開発が広がることを望みます。
- ⑰ 車いすやその他の移動機器でも、自宅などで小回りが利きやすい製品が増えてほしいです。

#### ■今後の開発に期待したい具体的な福祉機器

- ① 自宅や施設でも導入ができるよう、移動機能をあわせもった介護ベッドや入浴機器の開発をお願いします。
- ② 視覚障害で車いすを利用されている方向けに、位置情報などの音声案内機能をもった車いすを開発してください。
- ③ 車いすから立ち上がる際に自動で安全にフットサポートが収納できる車いす機能がほしいです。
- ④ 自動で折りたたみ可能な車いすが普及し、保管場所に困らなくなれば良いと思います。
- ⑤ 電車の線路の溝などに、車いすや杖などの移動機器がはさまる事故が増えています。溝があっても安心安全に移動できる製品を望みます。
- ⑥ 腕が欠損している方でも自動車などを安全に運転できる補助装置を充実してほしいです。
- ⑦ 凹凸のない視覚障害者誘導ブロックなど、より安全に歩行できる環境を整えてほしいです。
- ⑧ 男性でも利用できるよう、カートのデザインのバリエーションを豊富にしてください。
- ⑨ 介護する人が、意思表示が難しい人の脳波を読みとれて、ある程度意思を確認できる機器を一般化してほしいです。
- ⑩ 重度のコミュニケーション障害の人が使用できる意思伝達装置の種類を増やしてほしいです。
- ⑪ 手話・筆談などのコミュニケーション機器が身近なお店や駅などに広く普及することを望みます。
- ⑫ 着替えをサポートしてくれる見守り機器や脱ぎ着がしやすい衣類が多く開発してほしいです。
- ⑬ 病気や障害で麻痺のある人が触れるとリハビリにもなる素材を使ったクッションがほしいです。
- ⑭ 入浴する際に、浴槽をまたぐ必要のない入浴機器あるいは補助機器の開発をお願いします。
- ⑮ 感染症対策やアフターメンテナンスなどが保障され、貸与も可能なポータブルトイレを利用したいです。
- ⑯ 施設向けだけでなく自宅で簡単に調理ができる「とろみ食」を充実させてほしいです。
- ⑰ 低重量で通気性の良い介護補助ロボットスーツの開発をお願いします。

#### ■機器の販売時や展示物の説明のあり方に期待すること

- ① 施設の職員でも福祉機器の説明や相談がある程度できるよう、企業などとの積極的な連携が必要だと感じます。
- ② 施設や福祉専門職と福祉機器販売業者などが集まる場で、福祉機器利用者も参加できるように感じます。
- ③ 展示物の名前や機能だけでなく、介護保険適応かどうかをわかるように表示してほしいです。
- ④ 将来、福祉用具専門店だけでなく、薬局などの身近なお店でも福

- ⑤ どのような種類の福祉機器(用具)でも購入する前に、まずは試用ができるようになってほしいと感じています。
- ⑥ 展示会や常設展示場の場でも、日常生活用品やおむつなどの小物類を販売もしくはサンプルとして試用できる機会がほしいです。
- ⑦ 各企業が販売する同様のカテゴリ製品の機能の違いや、値段の違いなどが一目でわかるポータルサイトのようなものがあれば良いと感じています。
- ⑧ 製品を購入してからも、販売業者から定期的にメンテナンス時期や新製品情報などの連絡があると助かります。
- ⑨ 自分でメンテナンスできることと、専門の方にメンテナンスをお願いしなければいけないことの区別がわかるように説明してほしいです。
- ⑩ 災害の多いわが国だからこそ、多くの展示場で災害時に有益な福祉機器のブースを設けてほしいです。
- ⑪ 認知症の人がいっそう増える中で、認知症の人でも簡単に操作できる機器の説明を受けたいです。

#### ■子どもの発達や教育のための福祉機器に期待すること

- ① 発達の段階に応じ、子ども用車いすの交換やメンテナンス、カスタマイズなどの情報を定期的に得られると良いと思います。
- ② 教育分野と連携し、IoTやICTなどの学習に役立つ製品を教育の場に普及してほしいと考えます。
- ③ 2020年のパラリンピックに向け、障害児用のスポーツ機器や義肢装具の充実をお願いします。
- ④ 重症心身障害児や医療的ケアが必要な子ども向けの入浴機器の種類を増やしてほしいです。
- ⑤ 障害児のための栄養食品や、食事をしながらリハビリテーションにもなる箸・お皿などの製品の開発をお願いします。

#### ■福祉機器利用者の情報収集の方法について

- ① 耐用年数の短い機器は、経済的な課題にもつながるため、介護保険適用やその他の保障で買い替えやすくなることを期待します。
- ② 様々な展示会でおむつや介護食品の展示が少なくなっているように感じます。特に在宅での利用方法についても知ることができる機会を増えることを期待します。
- ③ 使い古された機器を無料または低額で下取りしてくれるサービスの情報があるとありがたいです。
- ④ 製品のモデルチェンジの際に、旧モデルを利用しているユーザーとの意見交換会を開催してほしいです。
- ⑤ 福祉機器について利用者の意見などを投稿でき、各企業などと意見交換できる登録型Webページがあると良いと考えます。
- ⑥ 同様のカテゴリ製品が多いので、それらの情報の集約や比較がされているWebシステムなどがあれば、機器が選びやすいです。
- ⑦ 機器販売企業や展示場が無い地方において、自治体などから機器の最新情報がいち早く得られるシステムを作ってほしいです。
- ⑧ 展示会や常設展示場の場で無料で相談できたり、要望を伝えられる機会が増えてほしいです。
- ⑨ 展示会などでは新製品を出展ブースで展示していますが、それだけでなく新製品ブースを設けていただけるとわかりやすいです。